

第3回策定委員会 資料7

令和5年度の取組みについて

2023年8月2日
台東区都市づくり部

1. 交通量調査について

1. 交通量調査について

車両の交通量調査と、ウォークブル空間創出に向けた検討を行う。

■車両交通量の調査

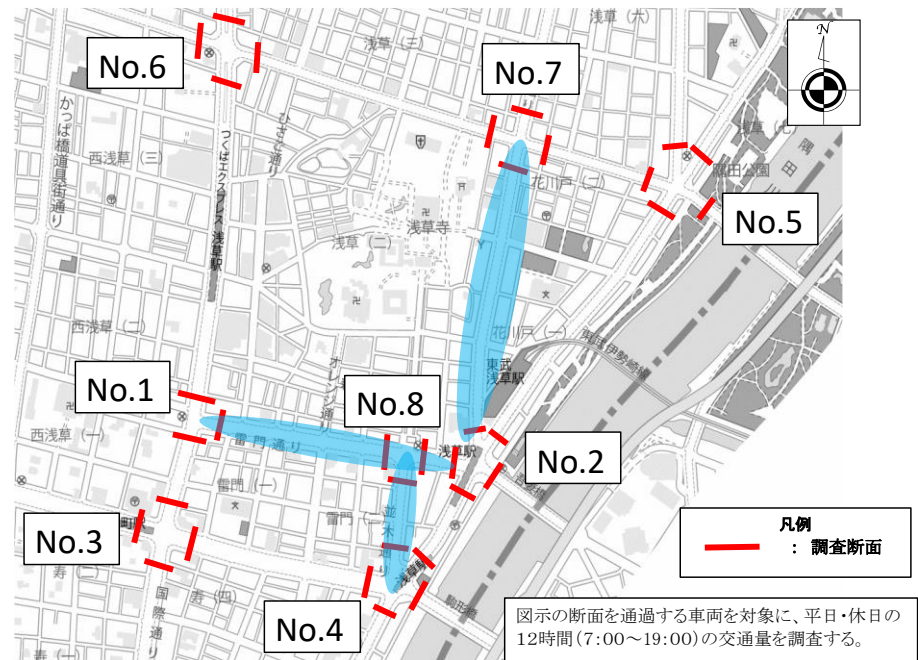
対象路線を通行する自動車交通量の現況を把握するため、下記に示す方法により、交差点における方向別自動車交通量調査を実施する。

- ・調査日：区が指定する2日間
⇒例. 平日と休日を1日ずつ、もしくは、イベント時（サンバ等）と平時を1日ずつ
- ・調査時間：7時から19時
- ・調査個所：下図に示す8か所
- ・調査対象：普通車（乗用車・小型貨物車）
大型車（大型貨物車・バス）
自動二輪車
人力車

■ウォークブル空間創出に向けた検討

今回実施する交通量調査及び過年度に実施している回遊性に関する調査・分析の結果をもとに、雷門通り・並木通り・馬道通りにおけるウォークブル空間創出に向けた交通処理の方向性を検討する。

No.1～8 浅草一、三、六、七丁目、雷門一、二丁目、花川戸一丁目



2. 雷門通りにおけるウォークブル社会実験について

2. 雷門通りにおけるウォーカブル社会実験について

雷門通りにおいて、ウォーカブル社会実験を行い、その効果検証を踏まえたウォーカブル空間の方向性や施策の検討を行う。

■社会実験の内容

ウォーカブル社会実験を実施し、利用者の滞留行動や利用状況、満足度等を調査・分析を行う。

- ・時期及び期間：令和5年11月～12月頃・7日間程度（予定）
- ・候補地：雷門通り（1か所）

新宿区での社会実験



新宿区HPより

静岡市での社会実験



国土交通省ウォーカブルポータルHPより

(参考)実験実施のイメージ(他都市での事例)

歩道幅やトランジットモール化などにより、道路空間を再編する。



雷門通りの目指すイメージ（例）

3. 関東大震災100年を契機としたパネル展について

3. 関東大震災100年を契機としたパネル展について

関東大震災100年の節目の年を機に、甚大な被害をもたらした大震災に関する情報の発信、災害教訓の継承のため、パネル展を実施する。

■開催日時（予定）

- ・ 日程：令和5年9月13日（水）～9月21日（木）
- ・ 場所：浅草文化観光センター 7階展示スペース

たいとう 関東大震災100年事業



被災の状況



関東大震災で焼き残った浅草寺



被災した浅草十二階

出典：ビジュアル台東区史

震災復興後の状況



開園当初の隅田公園



浅草松屋百貨店

出典：公益財団法人 東京都公園協会
「緑と水のひろば」